

# 三保松原・老齢大木の樹勢回復状況

— 全体的に緩やかな回復傾向 —



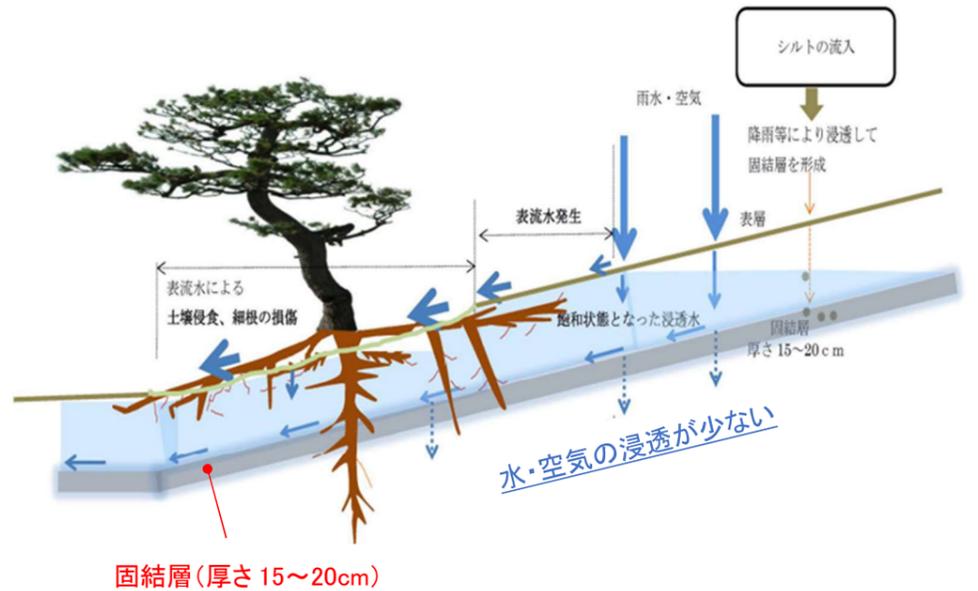
技術情報 VOL.4-2

(調査・検証) 一般財団法人三保松原保全研究所 R6.3

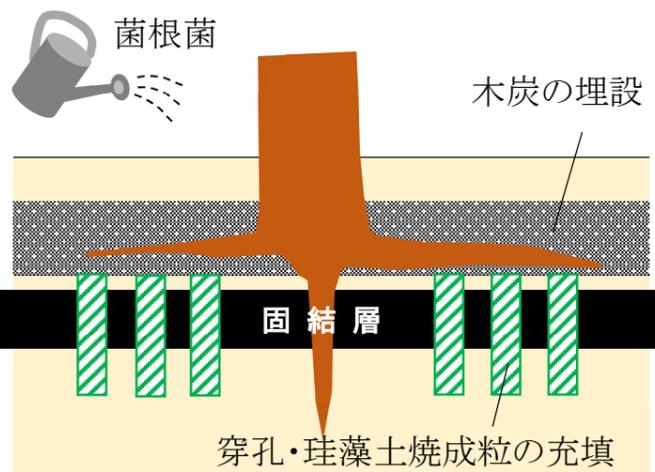
## ●背景・目的

平成26年度に「羽衣の松」の樹勢の衰えが確認され、その原因として、来訪者の踏圧により形成された土壌の“固結層”が根や菌根の生育を阻害していることが明らかになりました。

このため平成28年度から、「羽衣の松」と周辺の老齢大木を対象に、木炭と菌根菌による土壌改良が進められています。



## ●基本的な施工方法



対象となる老齢大木から放射状に固結層を除去・穿孔した上で、土壌改良材(木炭・珪藻土焼成粒)を埋設し、マツと共生しその生育を助ける「菌根菌」の散布を行います。

← 施工状況(木炭埋設時点)

## ●結果

平成28~29年度施工のマツ16本について、樹勢モニタリングを行っています。

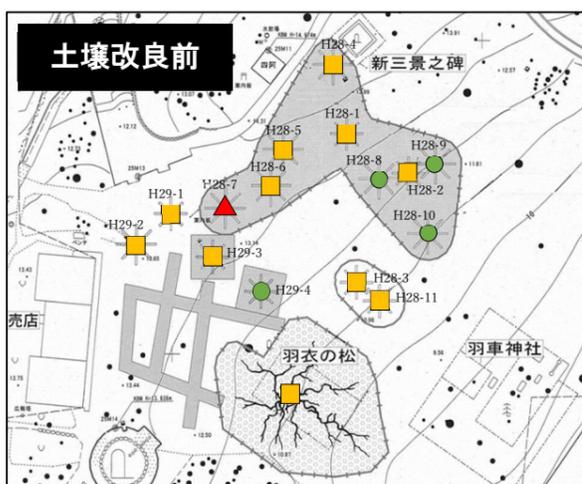
前年度と比較して評価が降下したマツが1本ありましたが、全体的に緩やかな回復傾向にあります。

評価が降下したマツは気候や乾燥などの影響で、昨年度よりも枝の伸びが良くありませんでしたが、樹勢の悪化によるものではありませんでした。

### 樹勢回復状況一覧(改良前▶R5)

※赤印は令和5年度に変化したマツ

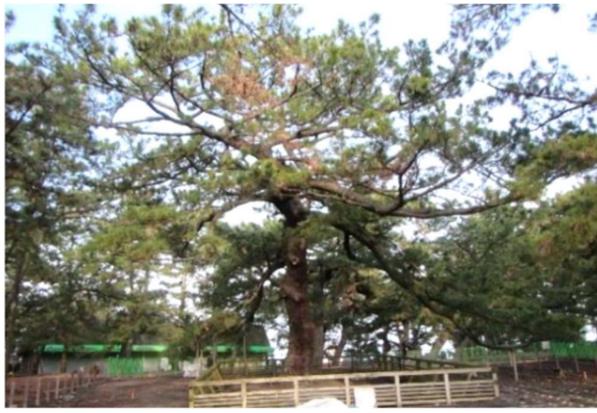
判定	H28年度改良分											H29年度改良分				
	羽衣の松	老齢大木										老齢大木				
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	1	2	3	4
◎ 良		◎	◎			◎ 前回	◎						◎			
○ やや不良	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
□ 不良	□	□	□	□	□	□	□				□	□	□	□		
△ 著しく不良							△									
× 枯死寸前																



回復しつつある羽衣の松(R5.10月)

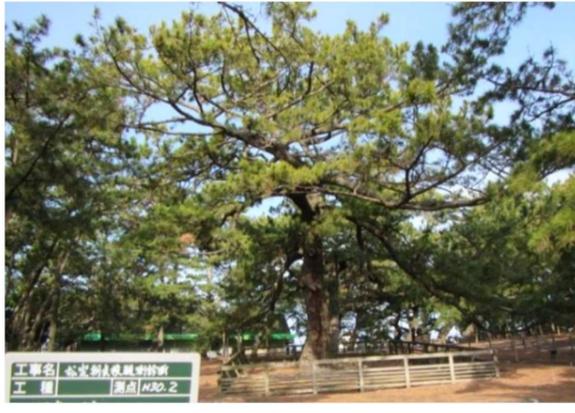
樹勢凡例 ▲ 著しく不良 ■ 不良 ● やや不良 ● 良

## 羽衣の松の樹勢推移



平成 28 年 10 月 (土壌改良前)

※葉量少なく枯枝あり



平成 29 年 10 月 (改良 1 年後)

※葉量回復し、枯枝なし



令和 5 年 10 月 (現在)

※新枝の伸長旺盛